



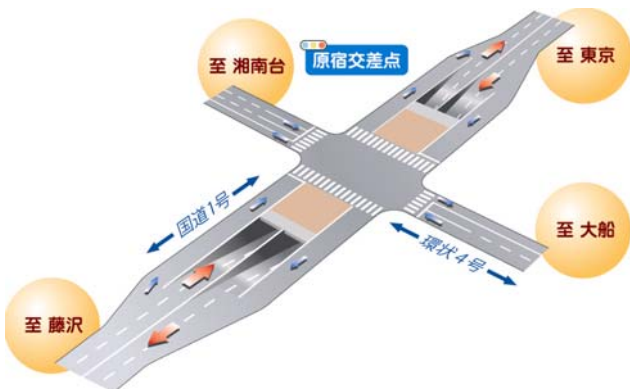
原宿交差点の全線開通前、消防訓練を実施します。

国道1号の原宿交差点において、12月12日(日)朝5時頃、開通済みの上り線トンネルに続いて、下り線トンネルもいよいよ開通します。開通により、国道1号及び環状4号の渋滞緩和が期待されます。

今回、この全線開通に伴い、トンネル内の車両事故による火災を想定した消防訓練を以下のとおり実施します。この訓練では、事故発生後の迅速な対応を図ることを目的に、道路管理者、消防、警察、医療機関が相互協力のもとに合同で実施します。

- (1) 実施日時 : 平成22年12月7日(火) 10時~11時 (訓練時間は約30分間)
- (2) 実施場所 : 国道1号 原宿交差点下り線トンネル(横浜市戸塚区原宿3-5)
- (3) 参加団体 : ■国土交通省横浜国道事務所(約10名)
■横浜市戸塚消防署(特別高度救助隊を含む)(約25名)
■神奈川県戸塚警察署(約15名)
■横浜医療センター、横浜救急医療チーム(以下、YMAT)(約3名)
- (4) 実施内容 : ・道路管理者による通報訓練、規制訓練
・消防・レスキュー隊による救出活動訓練
・特別高度工作車(大型ブローア車)による排煙訓練
(スモークマシーンにて実際に発煙し、トンネル内の排煙状況を確認します。)
・YMATと連携した救助活動の実施
・警察官による心肺蘇生法、二次災害防止活動 等

※訓練は、マスコミ関係者に公開します。別添「案内図」をもとに、9時50分までにお越しください。



下り線トンネル開通後



排煙訓練で使用する大型ブローア車

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川県政記者クラブ 横浜市政記者会	神奈川建設記者会 横浜ラジオ・テレビ記者会
----------------------------------	--------------------------

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所	TEL 045-311-2981 (代表)
計画課長 平岩 洋三 (ひらいわ ようぞう)	内線261
管理第二課長 吉池 正弘 (よしいけ まさひろ)	内線441
横浜市 戸塚消防署	TEL 045-881-0119 (代表)
副署長 深田 稔 (ふかだ みのる)	

原宿交差点下り線トンネル 消防訓練のご案内

原宿交差点のトンネルの全線開通に伴い、トンネル内の車両事故による火災を想定した消防訓練を以下のとおり実施します。この訓練では、事故発生後の迅速な対応を図ることを目的に、道路管理者、消防、警察、医療機関が相互協力のもとに合同で実施します。

日 時

平成22年12月7日(火)10時～11時

場 所

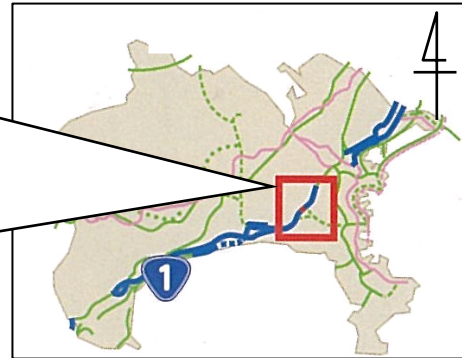
国道1号線、原宿交差点下り線トンネル(横浜市戸塚区原宿3-5)
(※次ページの案内図参照)

プログラム

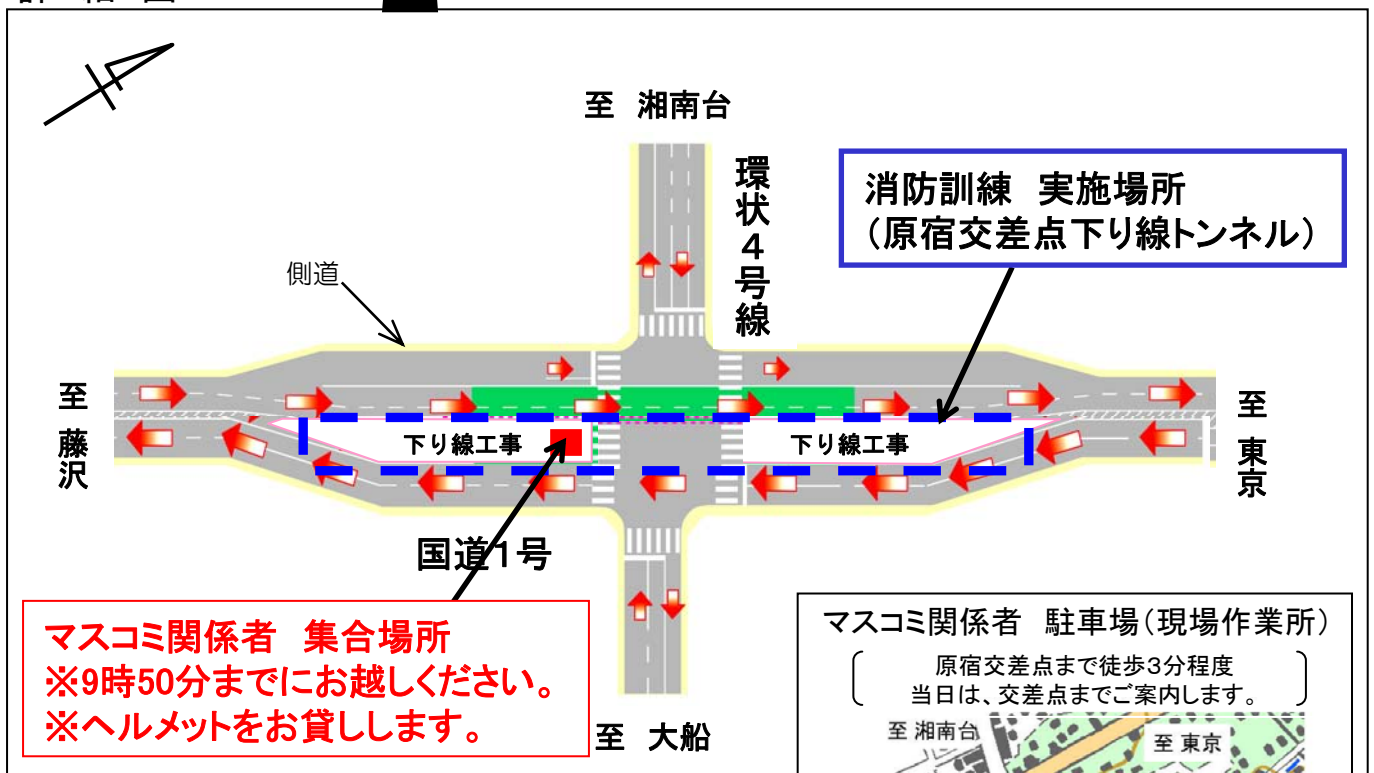
時間	訓練想定	訓練部隊	訓練内容
10:10	・ 事故の発生 ・ 通報訓練	・ 国土交通省	・ アンダーパス内の非常電話から通話試験 ・ 速やかな連絡体制の確認(受信含む)
10:11	・ 交通規制 ・ 初期対応	・ 国土交通省 ・ 戸塚警察署	・ 事故の状況把握 ・ 負傷者への応急救護(CPR) ・ 交通規制(道路封鎖)
10:14	・ 消火活動 ・ 救急活動	・ 戸塚消防署	・ 消火活動(呼吸器装着後、1線延長) ・ 鎮火報告(鎮火したが、アンダーパス内に煙が充満している。要救助者1名) ・ 警察官との活動交代(救急隊)
10:15	・ 指揮本部の設置	・ 戸塚消防署	・ 先着隊からの状況報告 ・ 各隊への活動の下命
10:16	・ 排煙活動 ・ ブリーフィング	・ 戸塚消防署 ・ YMAT	・ 機動工作隊による排煙活動 ・ YMATを含む、救助チームのブリーフィング
10:21	・ 救助活動	・ 戸塚消防署 ・ YMAT	・ YMATを中心とした救助チームでの救助活動(応急措置含む) ・ 大正隊による警戒筒先
10:39	・ 救出完了	・ 戸塚消防署	・ バックボードによる全身の固定
10:40	・ 訓練終了	・ 戸塚消防署	・ 訓練終了

※プログラムは予定であり、当日の現場状況によって変更になる場合もあります。

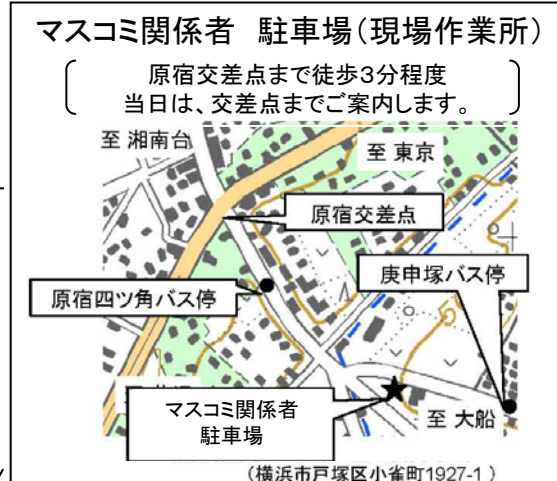
訓練場所 案内図



詳細図



※訓練は、マスコミ関係者に公開します。



原宿交差点トンネル内の道路管理（国土交通省） ～最新の設備を導入し、トンネル内を24時間体制で見守っています～

国土交通省横浜国道事務所では、原宿交差点のトンネルを安全に利用していただくため、消火設備、冠水情報や道路情報を提供する情報板などの道路施設を設置しております。

また、パトロールの強化やカメラによる24時間体制の監視を実施するなど、トンネルの安全対策に取り組んでおります。

非常電話



火災、事故が発生した場合、受話器をとり、国土交通省、警察、消防へ連絡できます。

消火設備



押しボタンで火災、事故などを連絡するとともに、消火器は、初期消火に役立ちます。

情報板



（冠水情報の表示イメージ） （道路情報の表示イメージ）

ドライバーに対し、トンネル内の冠水情報や道路情報をすばやく提供します。

冠水センサー



路面からの水位を感知し、トンネル内の冠水状況を情報板に表示します。

パトロールの強化



日々のパトロールに加え、冠水対策として時間雨量30mm/h以上の場合、緊急パトロールを実施します。

24時間体制の監視



横浜国道事務所内の道路情報室では、トンネル内に設置しているカメラからの映像を、24時間体制で監視しています。



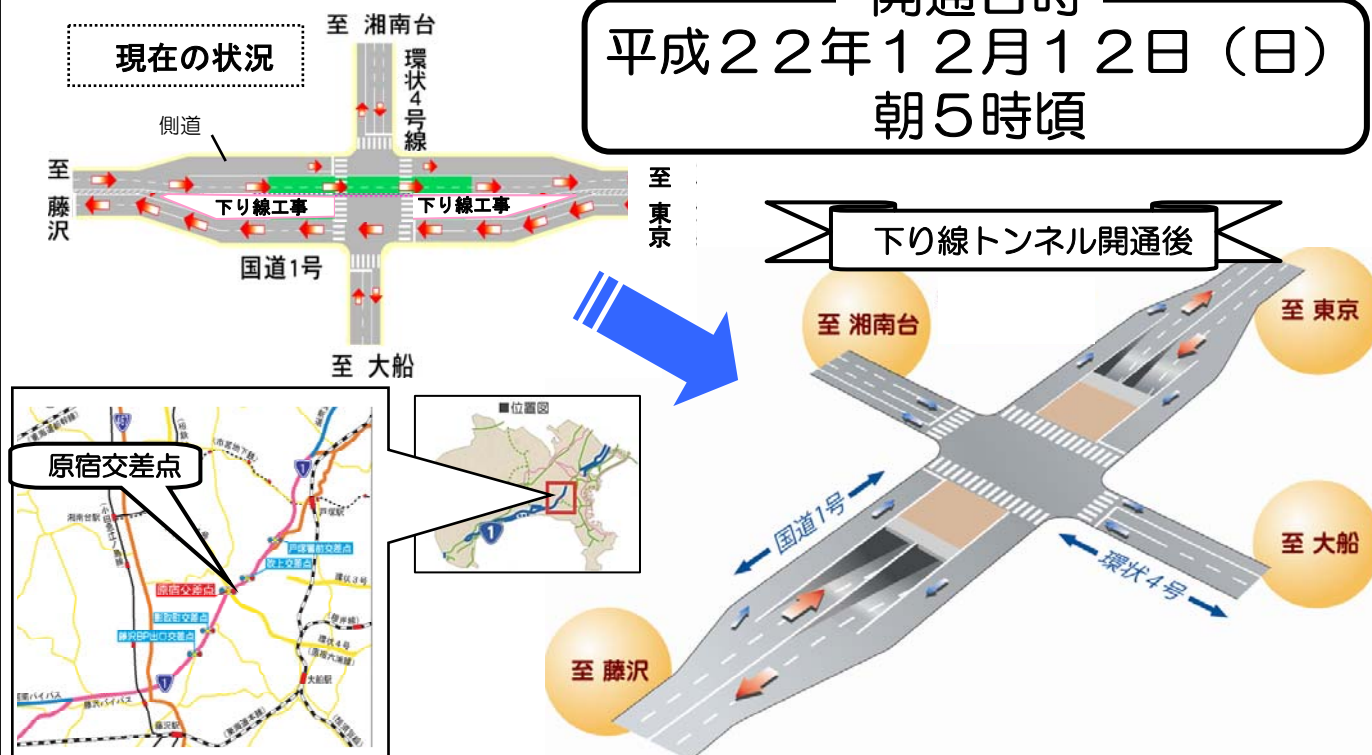
12月12日(日)朝5時頃 原宿交差点下り線トンネルも開通します!

～神奈川県内渋滞ワースト1の解消へ～

国道1号原宿交差点において、開通済みの上り線トンネルに続いて、下り線トンネルもいよいよ開通します。開通により、国道1号及び環状4号の渋滞緩和が期待されます。

開通日時

平成22年12月12日(日)
朝5時頃



※ 下り線トンネル開通後も、地上部において側道の歩道拡幅、舗装工事、Uターン路の設置等を実施してまいりますので、引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 神奈川県政記者クラブ 横浜市政記者会 横浜ラジオ・テレビ記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

電話 045-311-2981 (代表)

副所長(改築) 徳 嵩 公明

調査課長 石倉 丈士



原宿交差点改良の事業概要（１）

参考資料
(H22. 11. 22記者発表資料)

○概要

原宿交差点改良事業は国道１号と環状４号との交差点を立体化（国道１号が地下を通ります）し、国道１号の通過交通と環状４号との出入り交通を分離することによって、交通混雑を解消し、横浜市の放射・環状方向の円滑な交通を確保することを目的に計画されたものです。

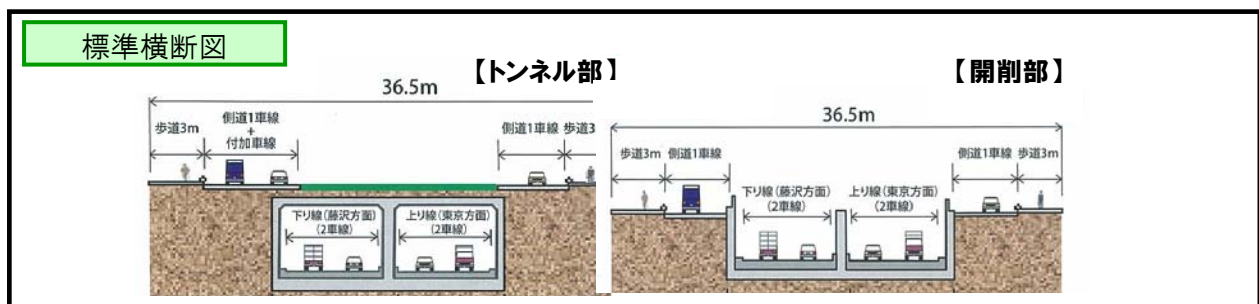
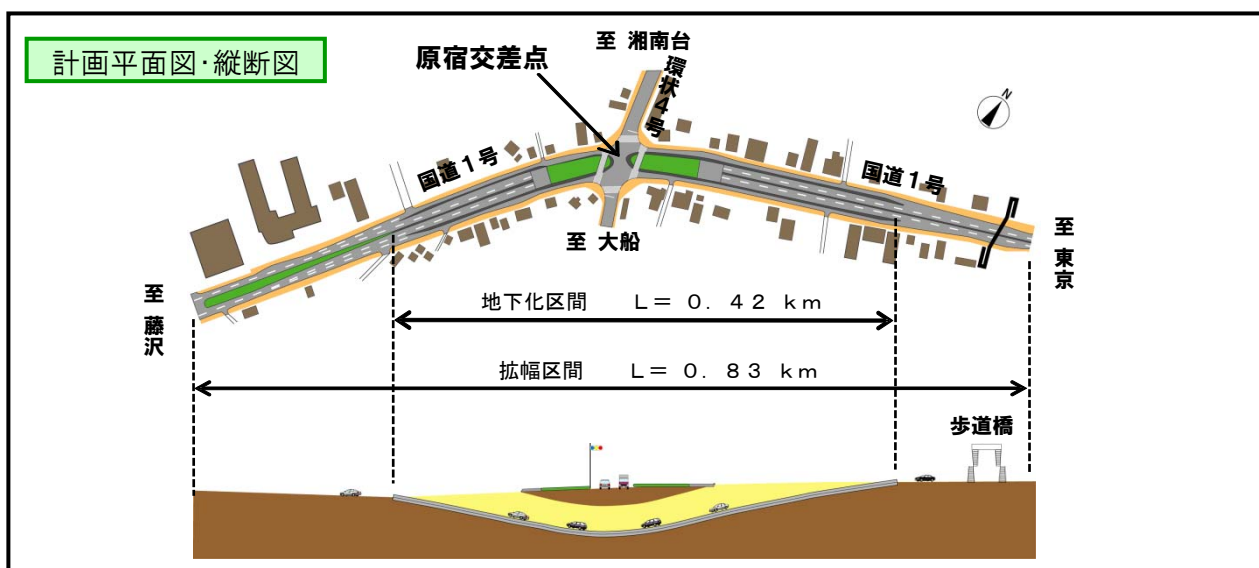
-諸元-

区 間：自）神奈川県横浜市戸塚区原宿
至）神奈川県横浜市戸塚区原宿
計画延長：0.83 km
幅 員：36.5m
道路規格：第4種第1級
車 線 数：本線4車線・側道2車線

-事業の経緯-

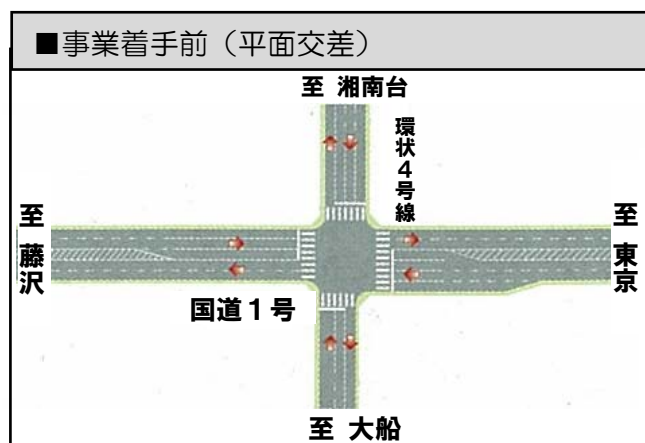
平成 3年度：用地取得着手
平成19年 2月：立体化工事着手
平成21年 4月：東京方面（上り線）トンネル開通
平成22年12月：藤沢方面（下り線）トンネル開通（上下線立体化）

下り線トンネル開通後も、地上部において側道の歩道拡幅、舗装工事、Uターン路の設置等を実施してまいります。

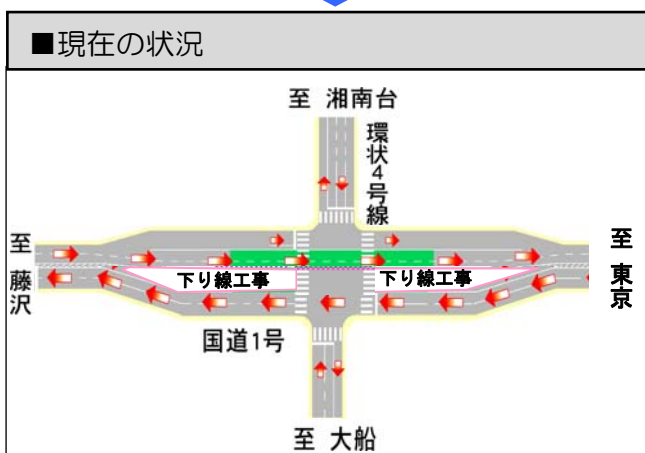


○事業着手前及び立体化全線開通後の交差点形状

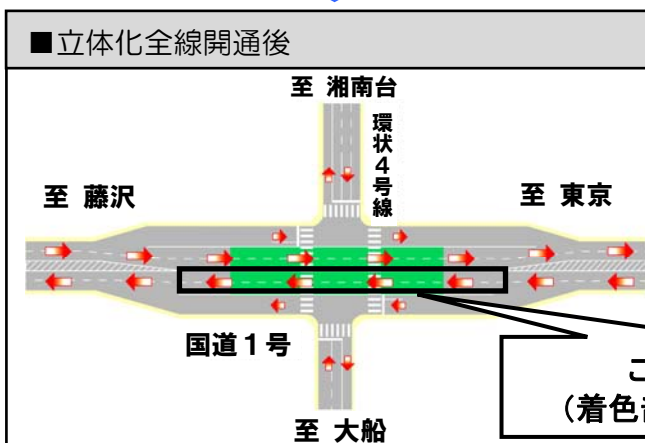
国道1号と交差する環状4号の地下に、トンネルを設けることにより交差点を立体化します。またトンネル脇の地上部には側道を設け、環状4号と国道とのアクセスを確保しています。



事業着手前の原宿交差点は、平面交差でした。交通の集中により慢性的な渋滞を引き起こしていました。



現在、上り線トンネルのみ開通しています。下り線トンネルは、照明、通信設備等の付け替え工事を行っています。



12月12日（日）、下り線トンネルが開通します。

ここが開通します！
(着色部分がトンネル部です)

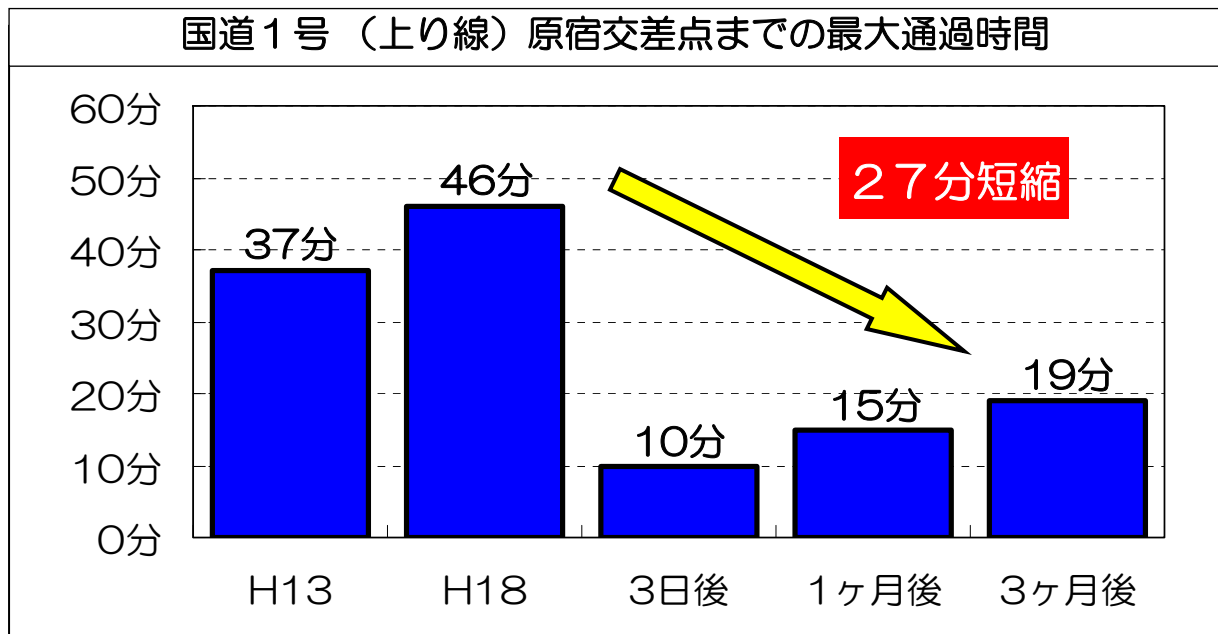
原宿交差点改良の整備効果 (平成21年4月 上り線 暫定開通後の)

参考資料
(H22. 11. 22記者発表資料)

原宿交差点までの通過時間が大幅に短縮(最大27分の短縮)

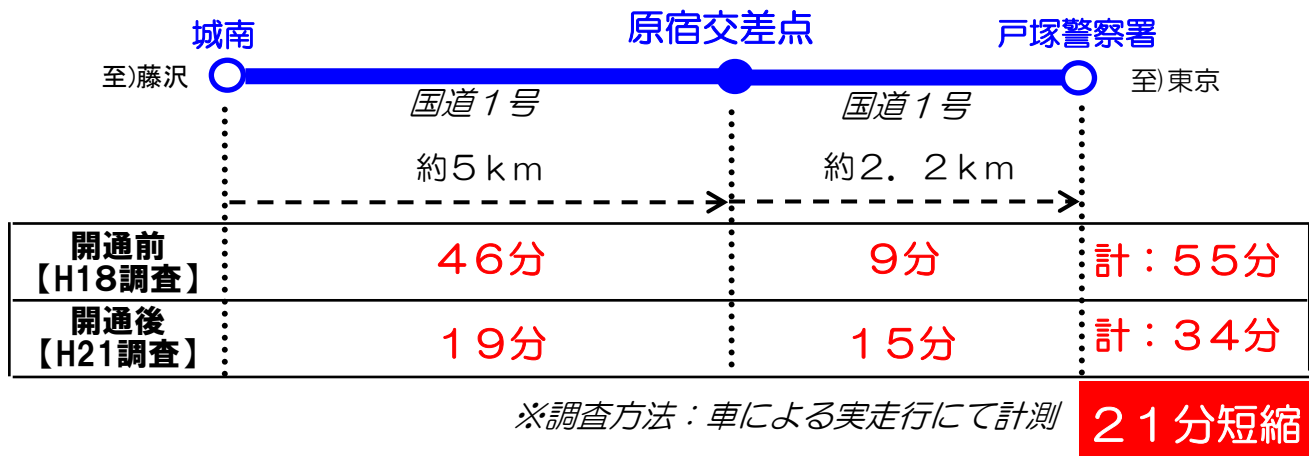
◆国道1号 原宿交差点までの最大通過時間(所要時間)を調査した結果

- ・上り線(東京方向)の最大通過時間は、**19分**でした。
- ・開通前(H18)と比べると、約**27分**短縮しました。



※約5km(藤沢(城南)～原宿間)の最大通過時間を比較
 <調査日>
 ・平成13年 11月 8日(木) ・平成18年 7月 12日(水)
 ・3日後:平成21年4月7日(火) ・1ヶ月後:平成21年5月19日(火) ・3ヶ月後:平成21年7月9日(木)

◆国道1号の上り線(藤沢(城南)→原宿→東京方向)朝8時台の通過時間比較



※今後、原宿交差点～戸塚警察署間などの周辺交通状況を確認し、新たな渋滞対策の必要性について検討を行う予定です。